愛知県豊明市

独自の再資源化技術とコミュニケーション強化策で 未来に亘る競争優位性を実現

同社は、昭和34年創業。役割を終えた多様な金属類を再生し、独自の技術とノウハウで高品質な原料の製造・販売を行う「資源製造供給会社」である。回収した金属類は適切なサイズに整え、加工工程前後の精緻な選別・解体作業によって品質を確保、高品位な製品に生まれ変わって地場の各製鋼・伸銅メーカーに販売している。読書会「木鶏クラブ」の実施、3年連続「健康経営優良法人」認定取得など、働きやすい職場づくりにも注力している。

●所在地	愛知県豊明市前後町三ツ谷1361
●電話/FAX	0562-97-7215/0562-97-8181
•URL	https://www.armec.jp/
●代表者	代表取締役社長 星河 秀樹

- 設立	1959年
●資本金	1,000万円
●従業員数	67人



複合物の再資源化能力向上による競争優位の実現

近年は金属とプラスチックなどにより構成された「複合物」の廃棄が増えており、従来以上の高度な処理技術を求められている。同社では2013年にシュレッダープラントを導入し、各種選別装置の導入やキーデバイスであるローターノッカーの開発(特許・意匠取得)などにより、複合物の再資源化を可能にした。さらには「愛知環境賞」を受賞した「非鉄ピックアップライン」、雑銅線から純良な銅を抽出する「ナゲットライン」構築など独自の技術開発を進め、付加価値の向上と他社に対する競争優位を実現している。



ナゲットライン

部署間連携・コミュニケーション強化による業務効率化

同社では、社内向けSNSツール「TUNAG(ツナグ)」を導入して、各部署ごとに有している高い技術力やスキルを最大限活かした業務効率化を実現している。具体的には独自のコンテンツを採り入れた同ツールを活用して、年間計画の進捗状況から仲間への「サンクスメッセージ」まで全社でリアルタイムに共有、あらゆるコミュニケーションをTUNAG上で行えるようにカスタマイズを随時行っている。その結果、社内の情報共有速度が飛躍的に高まり、業務効率化と社員満足度向上に大きく貢献している。



社内向けコミュニケーションツール

活発な採用活動とジョブローテーションによる人材の有効活用

同社は、会社の将来を担う人材として新卒の採用を積極的に行っている。 現場の作業だけでなく総務部門の体験メニューも加えたインターンシップ、若 手社員が中心となって行う会社説明会など毎年工夫を重ねるとともに「理念採 用」を掲げ、会社としての考えを学生に丁寧に伝えることで入社後のイメージ ギャップを可能な限り低くしている。また既存社員に対して「ジョブローテーショ ン」を積極的に行い、幅広い知識と技術を体得することでオールマイティーに 活躍できる人材を育成し、生産性の向上を図っている。



新卒の採用風景